

海外派遣留学プログラム 留学中報告書

所属：園芸学部食料資源経済学科

学年：3 年

留学先大学：慶熙大学

現在の学期：秋学期

時間割：

曜日	履修科目名・時間等
月	13:30-14:45 K-contents Korean Intermediate B 15:00-16:15 K-contents Korean Advanced B [Global Campus]
火	10:30-11:45 Introduction to Accounting 13:30-14:45 Business Statistics [Seoul Campus]
水	13:30-14:45 K-contents Korean Intermediate B 15:00-16:15 K-contents Korean Advanced B [Global Campus]
木	10:30-11:45 Introduction to Accounting 13:30-14:45 Business Statistics [Seoul Campus]
金	
土・日	

履修科目や近況について

〈履修登録について〉

Wishlist の追加（7 月）→履修登録（8 月）という流れでした。

韓国の履修登録は競争が激しいと聞いていたので心配していましたが、私は自宅から自分のパソコンで希望の授業を取ることができました。

韓国語の授業だけは定員オーバーとなってしまう、第 2 希望だった国際キャンパス（ソウルキャンパスからバスで約 1 時間）の授業を履修することになりました。9 月の 1 週目にも新しく授業を取ることは難しいですが、「修正期間」があり、その間に履修内容を変更することができます。

〈授業について〉

○K-Contents Korean Intermediate B は、食べ物・生活・文化を題材にした 말하기（話す）の授業です。学生は 8 人ほどで、話し合いながら授業が進みます。中間試験では、自分の国の観光スポットについてポスターを作成し、発表を行う予定です。

○K-Contents Korean Advanced B は、社会問題やドラマ、教育などを題材にした 쓰기（書く）の授業です。こちらも 9 人ほどの少人数クラスで、活発に意見を出し合いながら進みます。新造語や音楽など、興味深いテーマについて動画を見ながら学べるので、とても楽しい授業です！

○Introduction to Accounting は会計学の授業で、約 80 人が受講しており、その多くは 1 年生です。簿記を中心に学ぶ内容で、私の履修しているクラスは外国人向けではなく韓国人向けのため、進度が速く着いていくのが大変です。丁寧な復習を心がけています。外国人向けのクラスを選ぶことをおすすめします。

○Business Statistics は統計学の授業で、約 90 人の学生が受講しています。そのうち 20 人ほどが外国人です。教科書と PPT は英語で、説明は韓国語という形式なので少し混乱しますが、日本でも似たような授業を受けていたため、なんとか理解できています。

ソウルキャンパスと国際キャンパスの両方で授業を履修していますが、韓国は日本より交通費が安く、直通のシャトルバスもあるため、移動はそれほど大変ではありません。経営学部だけでなく外国語学部の学生とも関わることができたのは、私にとってとても大きなメリットでした。

〈入寮について〉

私は「世和院（セファウォン）」という留学生寮で暮らしています。交換留学生のほとんどはこの寮で過ごしますが、中にはコシウォンやワンルームに住んでいる人もいます。

8 月 25 日に寮へ到着したら、まず **행정실**（事務室）に行き、はしかの抗体証明・結核検査の結果・証明写真を提出しました。その後、ブランケットと鍵を受け取って入寮完了です。

（※まくらはついていません！）

空港から寮まではシャトルバスが運行していましたが、料金が高かったため節約しようと思い、電車とバスを乗り継いで向かいました。しかし、韓国の道は坂が多くデコボコしているので、30kg を超える荷物を持つての移動は本当に大変でした。バスの利用を強くおすすめします。

部屋は 2 人部屋で、基本的に同じ国籍の学生同士がペアになります。初日は生活用品や掃除道具などの買い出しで忙しく、想像以上にお金もかかりました。



〈オリエンテーション&BUDDY プログラムについて〉

8 月 29 日にオリエンテーションがありました。学校紹介や学生ポータル、e-campus の登録方法、外国人登録の手続きなどについて説明を受けました。

説明の後には全員にサンドイッチが配られ、昼食をとった後、外国人登録と Payco（キャンパス間を移動する学生が使うバスの乗車券が買えるアプリ）の入金が行われました。登録用紙は学校側が用意してくれており、寮に住んでいる学生は証明写真・パスポートのコピー・パスポート原本・韓国での電話番号・現金 35,000 ウォンを持参すれば手続きが可能でした。Payco は外国人登録証が届くまではメールでバウチャーが届くシステムなので、現金で支払いました。（バスを利用しない人は不要です。）オリエンテーションはすべて英語で進行されます。韓国語を話せる留学生はほとんどおらず、私は英語で積極的に声をかけて専攻や国の話をしながら、たくさんの友達を作りました。日本人はもっと多いと思っていましたが、秋から来た日本人は留学生全体が約 300 人の中でおそらく 7 人ほどでした。

オリエンテーション後には、BUDDY プログラムの対面式がありました。私は韓国人 1 人と日本人 2 人のグループで、韓国人の子は日本語がとても上手で、来年春から日本に留学予定の学生でした。普段は都合のいいときに集まり、ご飯を食べに行ったりカフェに行ったりしています。BUDDY では 1 人あたり 50,000 ウォンの支給があり、私たちはそのお金で陶芸体験をしたり、ピザやケーキを食べたりしました。一緒に学祭に行ったり、テスト期間には勉強をしたりと、とても充実しています。



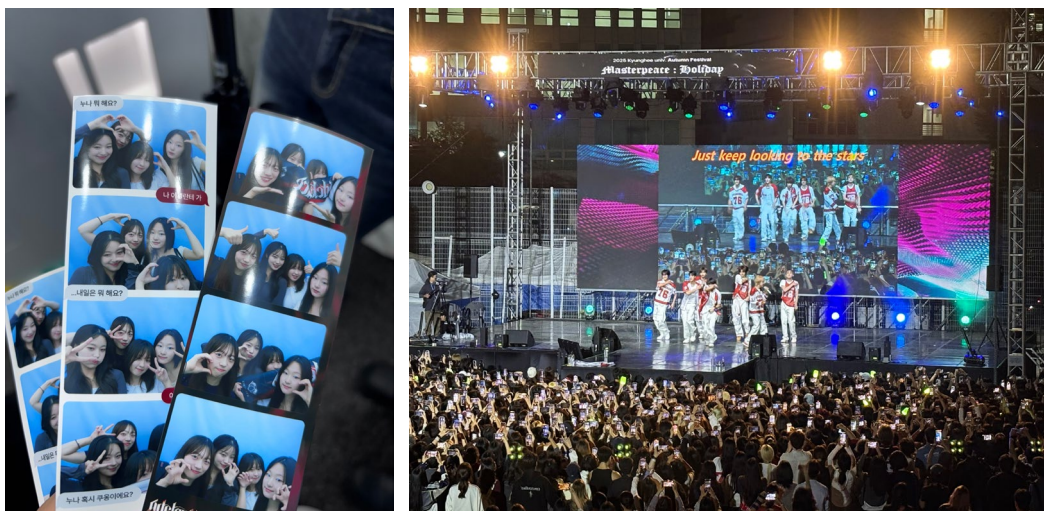
〈学校祭について〉

慶熙大学では、9 月半ばに国際キャンパス、9 月末にソウルキャンパスで学祭が開催されました。

フードトラックや学生によるダンス・バンドの発表、ゲーム、そして인생네컷（プリクラのような写真が撮れるブース）など、さまざまな企画がありました。

中でも一番のビッグイベントは芸能人による公演です！Hearts2Hearts や ILLIT、NCTDREAM など、人気アイドルや歌手が出演し、前日の夜から徹夜で列を作る人もいたほどでした。韓国のエンタメ文化の影響力の大きさを改めて感じました。

学祭には学生だけでなく地域の人々も訪れ、キャンパス全体がとても賑やかで盛り上がりしました。



〈SIM について〉

結論から言うと、慶熙大学ソウルキャンパスに通う学生は「チングモバイル」で契約するのがおすすめです。私は始め、日本で SIM を買うよりも韓国で契約した方が安いと思っていました。しかし、韓国では外国人登録証がないと通常の SIM 契約ができないため、観光客用の SIM(少し割高)しか購入できませんでした。そこで、春から留学していた友人に相談したところ、チングモバイルなら登録証がなくても契約できると教えてもらいました。チングモバイルではパスポートだけで契約可能で、登録証が届いた後に再度お店へ行き、正式な手続きを行う流れになります。

私は携帯の準備をあまり計画せずに行ったため、

- ・日本で購入した eSIM (3 日間)
- ・韓国の U+ 店舗で購入した観光客用 SIM (1 ヶ月)
- ・大学近くのチングモバイルで契約した SIM (3 ヶ月)

という流れで利用しました。中には、少し高くても安心だからと日本で 4 ヶ月分の SIM をあらかじめ購入していた人もいました。



〈サークルについて〉

私は外国語学部日本語学科の演劇サークル「演夢」に所属しています。

創作演劇を日本語で上演するのですが、私は日本人のリアルなイントネーションを教えたり、日本語らしい言い回しのセリフを考えたりする役割を担っています。11月には全国大会も控えており、今は一生懸命練習に励んでいます。

日本もそうですが、秋から入学する新入生は少ないため、サークル紹介などのイベントはあまり多くありませんでした（ブースで紹介している団体もありました）。韓国では「중앙동아리（中央サークル）」と「학과동아리（学科サークル）」という区分があり、前者は全員が入れるサークル、後者はその学部・学科の学生のみが所属できるサークルです。申請期間も短いため、自分から Instagram などで探さないと、参加の機会を逃してしまうかもしれません。私の周りでは、K-POP ダンスや卓球、旅行サークルをしている人もいます。日本と比べると学術系のサークルが多く、体育会系のサークルは少ない印象です。また、バスケットやバレーはプレイヤーが男性のみの場合が多く、女性は広報やマネージャーとして関わるケースが多いようです。

〈食生活について〉

寮には浄水器や電子レンジ、トースターがあります。キッチンはないので、基本的には簡単に食べられるお米やラーメンを食べたり、外食や배달（出前）を利用する人が多いです。私は1日に1回はきちんと食事を取り、それ以外はコンビニやスーパーで買ったご飯を簡単に済ませることが多いです。学食もよく利用しています。韓国の食文化は基本的に日本と似ていますが、ほとんどの料理に唐辛子が使われているため、日本食が恋しくなることもあります。そんな時は、大学周辺のとんかつ屋さんやうどん屋さんに行くようにしています。

日本から持ってきて良かったものは、お菓子類とふりかけです。日本のお菓子は韓国でも有名ですが、価格が少し高めなので、韓国人の友達にプレゼントするととても喜ばれます。寮で仲良くなったタイの友達とは、お互いの国のお菓子を交換することもありました。また、韓国ではふりかけの種類が少なく、簡単にご飯を済ませたい時にとても役立ちました。留学生活では栄養や野菜が不足しがちなので、意識的にバランスの取れた食事を心掛けたいです。

もうすぐ留学生活も折り返しを迎えます。初めの頃は友達もおらず、ひとりで退屈な日々を過ごしていましたが、今では大切な友達や自分の居場所ができました。ここでの出会いやご縁を大切にしながら、残りの時間も有意義に過ごしたいと思います。

